

平成 25 年度第 1 回さぬき市子ども・子育て会議

1 日 時 平成 25 年 10 月 2 日（水）18：00～20：00

2 場 所 さぬき市福祉事務所 201・202 会議室

3 出席者

[委 員] 佐竹勝利 松本吉弘 杉浦修造 福西マリコ 吉本嘉夫 鈴木貴子
白井理恵 野崎紀子 福澤美香 吉・正和 大西由美 長町邦子
宮本暢子 筒井美佐子

[事務局] 和田浩二 中村淑子 安富眞司 多田千稔 佐藤仁美 山田裕子
六車正徳 谷訓昌 永坂邦彦 黒川久美子

[傍 聴] 1 名

4 議 題

子ども・子育て支援新制度について
子ども・子育て支援ニーズ調査について
その他

5 会議の内容は次のとおりである。

| 発言者 | 意見概要 |
|-------|--|
| (事務局) | ただ今から第 1 回さぬき市子ども・子育て会議を開会いたします。本日は、大変お忙しいところご出席をいただきまして誠にありがとうございます。会長、副会長が選出されるまでの間、進行役を務めさせていただきます子育て支援課の多田です。どうぞよろしく願いいたします。はじめに大山市長より委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立をお願いします。 【委嘱状交付】 |
| (事務局) | 続きまして、大山市長より皆様にごあいさつを申し上げます。 |
| (市長) | (市長あいさつ) |
| (事務局) | ありがとうございました。市長におかれましては、所用のためここで退席させていただきます。 (市長退席) |
| (事務局) | 続きまして、委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。自己紹介につきましては、お配りしている次第の裏面に名簿をつけさせていただいております。この名簿順にご自己紹介をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。 |

| | |
|--------------|--|
| <p>(事務局)</p> | <p>(委員・事務局・JMC 自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。まだ来られてない方もいますが、委員 15 人中、14 人のご出席をいただいておりますので、さぬき市子ども・子育て会議条例第 5 条第 3 項の規定により、定足数に達したため会議は成立しておりますことご報告させていただきます。また、附属機関の委員の構成および会議の公開に関する指針に基づき、本会議を公開とさせていただきますことをご了解ください。</p> <p>次に、さぬき市子ども・子育て会議について簡単にご説明をさせていただきますと思います。お手元に「子育て会議の条例」の抜粋がお配りしてあると思いますので、お願いできたらと思います。それでは、事務局のほうから説明をお願いします。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>(事務局説明 さぬき市子ども・子育て会議条例)</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>ありがとうございました。それでは、会長、副会長の選任についてお諮りいたしたいと思います。会長、副会長の選任につきましては先ほどご説明いたしました、さぬき市子ども・子育て会議条例第 4 条第 2 項の規定により、委員の互選により定めることになっております。委員の皆様のご意見を願いたいと思います。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>事務局一任。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>早々と事務局一任の声が出ましたが、よろしいでしょうか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>【承認の拍手】</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>事務局といたしましては、会長に高松大学発達科学部学部長の佐竹委員さん、副会長にたらちね保育園の杉浦園長さんをお願いしたいと考えております。皆様はどうでしょうか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>【承認の拍手】</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>それでは、会長を佐竹委員に、副会長を杉浦委員をお願いしたいと思います。それでは、それぞれ席のほうに移動をしていただいて、会長より、ごあいさつをお願いいたします。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>(会長あいさつ)</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>ありがとうございました。副会長、よろしく申し上げます。</p> |
| <p>(副会長)</p> | <p>(副会長あいさつ)</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>ありがとうございました。どうぞよろしく願いたいと思います。それでは会議に入る前に資料の確認をお願いします。先にお渡ししたアンケート等をお持ちでない方がおられましたらお申し出いただいたらいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>それでは会議のほうを公開とさせていただきますので、傍聴の申し出がありましたので受け入れさせていただきますと思います。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>それでは、議事のほうに移らせていただきたいと思います。さぬき市子ども・子育て会議条例第 5 条の規定により、ここからの進行については会長よ</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>ろしくお願いいたします。</p> <p>(会長) それでは、私のほうで議事を進めさせていただきます。よろしくお願ひします。まず、お手元の資料がございますように、子ども・子育て支援制度につきまして、事務局から説明いただきたいのでよろしくお願ひします。</p> <p>(事務局) (事務局説明 議案第1号)</p> <p>(会長) ありがとうございます。内容につきまして皆様のほうからご質問等ございましたらお願ひしたいと思ひます。</p> <p>(委員) 8ページの保育の必要性の認定についてのところですか。先日送られてきましたニーズ調査の中にも、幼稚園、保育所、認定こども園に丸をつけるところがあつたと思ひます。国のニーズ調査は明らかに幼保連携型認定こども園を推し進める立場で調査をおこなつてつてるので、それについてはすごく反対の意見を持っています。さぬき市は現在、認定こども園がないにも関わらず、認定こども園に移行することを推進、ニーズ調査によって決まると思ひますが、そもそも認定こども園ということ自体が知らされていないと思ひます。今保育分野では話題になつていますが、子どもたちが大きくなつた一般の方たちは、この新制度自体があまり知らされていない中で、国は認定制度にするとしてきていますよね。さぬき市の場合、調査のところには今の保育料について明確に書かれていたのですが、例えば高松市なんかだったら全然価格については書かれていません。各市町村の子ども・子育て会議がたぶん今後のメインになると思ひますが、今保育園に入つてつてる人たちさえも役所に行つて認定時間を決められるわけですか。そういう周知の仕方について 27年の4月から実施することになつたら 26年の途中にはたぶん決めないといけなつて思ひます。そういうことについて具体的なことは考へられてつていますか。</p> <p>(事務局) 先ほどの質問ですが、認定こども園を国が進めてつてるということ、さぬき市の場合、認定こども園を進めてつてるという話ではありません。国が施策として保育の必要性を認定調査もすると。そうしないと財政的な支援の基となる給付が受けられないです。ですから、国のいう保育の必要性、これはやつていかなければならないことにはなつて思ひます。周知ですが、市が今のところ認定こども園について進めていないもの、ですから十分周知ができていないことで、これらについても今後市民の皆様に十分内容を伝えていけたいと思ひます。</p> <p>(会長) よろしいですか。ニーズ調査をこれからするわけですか。そのニーズ調査の中で、認定こども園のことについても当然触れて、そういうニーズがあるかどうかというのを掴んだ上で市としては進めていくということになつて考へてよろしいですか。</p> <p>(事務局) はい。</p> <p>(会長) もしそういうニーズが全然ないという場合はどうですか。</p> |
|--|--|

| | |
|-------|---|
| (事務局) | それも今後ニーズ調査の結果を基に、どういう判断をしていくかということとは考えさせていただきますし、またこの計画自体が、そのニーズ調査を基に施設と供給量も考えていくということなので、まずはこの会議のご意見を吸い上げるということが一番重要です。 |
| (会長) | わかりました。ほかはよろしいですか。 |
| (委員) | 今から皆さんにアンケートを配布して調査すると思いますが、一般の市民の方のニーズ調査の結果だけを基に、鵜呑みにしていろいろなことを決めていくのはとても危険だと思います。と言いますのも、私は保育所に勤めていますが、例えばさぬき市だったら、今休日保育をしていますよね。土曜保育も実施しています。保護者の方は土曜日や日曜日でもお休みではなく勤務されているのでお預かりをしますが、結局保護者の方も平日にお休みが必ず労働基準にあるのでお休みがあるはずですが、結局子どもを1週間丸々7日間全部保育所に預けている状態が実際に続いています。その保護者の方にも話して、やっぱり子どもが家族という時間の大切さなどお伝えするのですが、やっぱり保育所とかに丸投げになっています。いろいろなニーズに対して保護者の方が答えていくところを答えていかないといけないと思うのですが、保育の丸投げというのはちょっと違うと思うんです。実際その子どもは犠牲といったらおかしいですけど、グズグズと泣き続けたりとか、保育所でも弊害が出てきています。やっぱり保護者の愛情というのは大事だと思うので、そのところも保護者に支援していくことも必要だと思うので、このニーズ調査だけを基にというのは、ちょっとどうかなという私個人の考えです。 |
| (会長) | それはいかがですか。 |
| (事務局) | ニーズ調査を鵜呑みにしないということですが、ニーズ調査も1つの材料でございます。そういうことで、また国の動きも十分注意しながら総合的に考えていきたいと思えます。 |
| (会長) | それに、この場の委員さんのいろいろな意見も伺いながらということですね。 |
| (事務局) | 当然委員さんのご意見をいただくというのがこの子ども・子育て会議の目的でございますので。 |
| (会長) | よろしいですか。どんなことでも結構ですから、ほかはいかがですか。 |
| (委員) | 今現在、幼稚園にも保育所にも行っていなくて小学校に上がるような子どもたちというのは何人かいらっしゃいますか。 |
| (事務局) | 未就園児ということですか。 |
| (委員) | 小学校に行くまでに集団保育を全然受けていない子どもたちはどのぐらいいますか。 |
| (事務局) | さぬき市の現状という資料の4ページ就学前児童の状況を見ていただいたら在宅等の人数が載っております。 |
| (会長) | これは一番下が在宅ですね。だからゼロ歳児は228。 |

| | |
|-------|--|
| (事務局) | 下から2番目の在宅等というところです。 |
| (委員) | 5歳児だったら6人ですね。 |
| (事務局) | 3歳、4歳、5歳児は一桁ですね。 |
| (委員) | 高松市は50人ぐらいということだったので、引越しをしてきてどこにも入っていない子どもたちとか、それこそどこにいるかわからないみたいな、どこの小学校に行くかわからないような子どもたちもいるみたいです。そんなことはないですか。どこの小学校に行くかというのがわかっている5歳の6人ですか。 |
| (事務局) | はい。 |
| (会長) | これだけの分量ですからなかなか理解しがたいところもありますので、また一通り追ってでも結構ですので目を通していただいて、もしわかりにくいということがありましたらお願いするという事で、時間も限られておりますので先へ進めさせていただきたいと思います。議事の2番目ですが、ニーズ調査についてお願いします。 |
| (事務局) | (事務局説明 議案第2号) |
| (副会長) | 副会長の立場ではありますが、一言よろしいですか。就学前児童用の2ページ、用語の定義で保育所のところに「学校教育を除く」とありますが、これは何か意味があるのでしょうか。いろいろな経緯をみましても、学校教育を除くというような文言はあまり聞かないのでお尋ねしたいです。 |
| (JMC) | 保育所でおこなう教育というのは、学校教育法による教育ではございません。そういう意味で使っておりますが、誤解を招きそうなので少し表現を細工させていただきたいと思います。 |
| (副会長) | なくても良いのではないですか。 |
| (JMC) | はい、なくてもいいと思います。 |
| (委員) | 調査項目で、就学前のほうでは国実施とか義務とか市独自とかいろいろ分別されているのですが、小学生はないので、その意味はあるのですか。 |
| (事務局) | 国からは就学前の調査についてのみ必須の項目があるのですが、小学校のほうは特にございません。 |
| (委員) | 要は、すべて市独自だけですか。 |
| (事務局) | はい、基本的には指定がないので。 |
| (委員) | 6月に孫ができて、子どもと一緒にこれを見せてもらったのですが、先ほどもあったように最初からすごく言葉が難しく、保護者の方がこれを読んで答えるのにかなりの時間も労力もかかるので、できるだけ簡単な形で説明があったらいいと思います。最初に母親、父親の就労状況を調べてありますが、週何日で何時間とかフレックスや夜勤がある方は答えにくいのでは。前提として毎日何時から何時と決まった時間で働く人の答えやすい言い方で、夜勤があったりいろいろある人には答えづらいのもう少し工夫が必要と感じました。それから、保育所や幼稚園の説明が最初の用語の定義とし |

| | |
|-------|--|
| | <p>てありますが、なんとなくイメージはできるが、どこにあるのかもわからないし、ちょっと質問に答えにくいのではないかなど。お子さんが病気になった場合とか、もう少しわかりやすい言葉で説明があったらいいのではないかと感じました。</p> |
| (会長) | <p>最初の勤務の時間ですが、どうでしょうか。</p> |
| (JMC) | <p>問6がお母さんで、問7がお父さんですが、実は先ほどの一覧表では必須項目になっていますが、出勤帰宅時間の記述は必須ではなくて任意です。8時間保育で7時半からやっているけれども7時から働いている方が多い場合は前倒しとか、考えてみたいとか、そういう意向のあるところでは出勤帰宅時間というものを聞くようになっていきます。ですが、必須ではないのかどうかの議論も必要かと思えます。それからもう1点、夜勤であるとかそういう方については、実は国はなんの配慮もしていない状態です。ここのを夜勤等の方に特化した修正を加えると、今度ニーズ量を算出するときに、国の指示があった集計を行ったさいに、全国と比べた量が算出できなくなるという難点もございます。そういったご指摘はほかの子ども・子育て会議でも出てきますが、国と合わせておくということに最終的には落ち着いております。</p> |
| (会長) | <p>そうしたら、実際にどういうふうに書いてもらいますか。</p> |
| (JMC) | <p>まず、家を出る時間と帰宅時間について、遅い方が多い場合対応していくのかということ。実状として遅くて今の帰宅時間で足りない人が感覚的に多いのであれば、やっぱり一般的な帰宅時間とかを聞いて考えていかないといけないと思えます。ではなくて、今の保育所であるとか幼稚園で開園、開所時間、それからおしまいの時間、特に問題がなくて苦情も出ていないようであれば、できるだけ質問数は少ない方がいいと思われるので、出勤帰宅時間については削除する方向でいいのではないかと思います。</p> |
| (委員) | <p>例えば、これぐらいの時間働きますということで、下の説明で夜勤がありますか、ないですかというようなことはできないのですか。</p> |
| (JMC) | <p>追加質問で別途の下に夜勤がある方とかいうので付け加えることは可能ですが、ニーズ調査ですので、やはりアンケートの限界というのがあります、多数決となってしまう。全体の何パーセントで、という最大公約数的に施策というのは進めていかざるを得ない。予算配分の中でそういうことになりますので、夜勤の方が非常に多い地域、例えば都市部で大阪市の北区とかだと夜勤の方への検討も行うのですが、それがさぬき市でそこまで必要かという疑問ではあります。</p> |
| (会長) | <p>例えば一番多い例とか、平均時間とかいうのを後ろに付けておくとか、そういうのはどうでしょう。それから、もう1つのほうはページでいうとどこですか。</p> |
| (委員) | <p>11 ページです。</p> |

| | |
|-------|--|
| (委員) | 病児・病後児の関係ですが、ファミリーサポートセンターのほうで、この間もその話が出ていて、お知らせ活動の中に一緒にさぬき市でもしていることを知らない方も多いのではないかとということで、来年度から活動する中でパンフレットを全部挟み込んで、保育所とか幼稚園などの施設に持って行ったほうがいいのではないかと話が出ています。パンフレットのほうは市から使用許可いただきましたので、今後ファミリーサポートセンターの利用パンフと一緒に挟み込みを予定しています。よく熱を出されるお子さんをお持ちの方はひょっとしたらもうご存知だと思います。これはたぶん割りと普及している内容だとは思いますが。 |
| (委員) | さぬき市の保育所のほうでも、病児・病後児保育のパンフレットを全園児に配布しました。実際今も使われている方が大勢いらっしゃると思います。 |
| (委員) | 保育所に通われていたら、大体皆さんご存知ですか。 |
| (委員) | 預かってもらったという話もしますし、何名も使っています。 |
| (委員) | それともう1点です。これは、この質問に関係あるかどうかわかりませんが、子どものほうからの情報です。さぬき市を名乗って待機児童が多いので保育所が入れるかどうかわからないので、「予約をしますか」というような電話がかかってきたという人がいらして、第3希望まで聞かれたので第3希望まで言ったという話を聞いたんですが、実際行われてますか。 |
| (事務局) | 入所に関して、今年度で言いますと26年度の申込みを来週から実施するのですが、その場合に関しては申込みができますので、要件を満たしていれば、第1希望や第2希望をお伺いをすることがあるのですが、こちらのほうから電話をすることはありません。 |
| (委員) | ちょっとそれは怪しいかなと。 |
| (事務局) | 新卒の詐欺か。お問い合わせのお電話があったとき説明はさせていただくのですが。 |
| (委員) | うちの娘にもかかってこなかったし、聞いたらお答えいただくというのはあると思うのですが、どのぐらいに広がっているかわからないですけども、ちょっとそういうのがあったというのを聞いたのでお伺いしました。 |
| (事務局) | 年間、途中入所の方が約100人ぐらいいらっしゃる。把握ができれば保育士の確保もできるのですが、やはりわからず途中から入りたい人がいらっしゃっても保育士の確保が難しく、お断りしなければいけない場合もございます。そのために問い合わせがあれば、説明はさせていただいていますが、全員の方にこちらから電話をして「どうですか」というお問い合わせはしておりません。 |
| (委員) | 失礼しました。ありがとうございました。 |
| (JMC) | 先ほどの病児・病後児保育の件ですが、ほかのところ例えば10ページの下のところ、情報提供として「〇〇市ではこういったところでこういう事業をしています。詳しくはお問い合わせください」みたいなことを書かれ |

| | |
|-------|---|
| | て調査票をされているところはあります。ただ、ファミサポだけのチラシを入れるということはしてないですね。 |
| (委員) | 違います。ファミサポ独自の活動の中で配布をします。皆さんに配布されるので知名度はある程度上がって言葉自体を知らない人が多いと思われるとちょっとあれかなという。 |
| (JMC) | 調査票自体には文言説明を入れることも可能ですので。 |
| (事務局) | 先ほどの病児・病後児は、文言の下に「市民病院のコスモスでやっております」というのを入れたほうがいいのかもわかりません。 |
| (委員) | 同じ意見ですが、「ファミサポは、具体的に1時間600円か700円でこういうことをやっております」と書いてほしい。それと同じように他もどのくらいでサービスを提供しているとか書いておいてあげたら今後皆さんのニーズに基づいて検討ができるのでは。 |
| (委員) | 小学校ですが、たぶん就学前の児童と重複してアンケートを取ることがあると思います。これを2つ書くとなると相当なエネルギーがかかってくると思いますし、類似している項目が結構ある。これだけアンケートを取らないといけないものですか。 |
| (事務局) | できるだけ1人の子どもさんに1つという調査票になっているので、お手数ですが保護者の方に子どもごとに書いていただくと。それを基にしたデータが1番参考になるというので、お手数ですがお願いしたい。 |
| (委員) | ちょっと嫌ですね。 |
| (会長) | 就学前にしる、小学校にしる、複数いる場合は1つか。 |
| (事務局) | 子どもごとに書いてもらうのも心苦しいのですが、そういうふうにさせていただきました。 |
| (委員) | 就学前が2人、小学校に2人子どもさんがいたら4通になるんですか。実際いらっしゃいますが。 |
| (委員) | さぬき市の現状の資料に、就学前児童が全部で2,046人。就学前児童の保護者は約2,000人と書いているのですが、兄弟がいるとしたらそのままの数はおかしいですね。保護者の数はもっと少なくないですか。 |
| (事務局) | 就学前の児童の保護者が2,000人。保護者に書いていただくのですが、これは保護者の数ではなく子どもさんの数という考えです。 |
| (委員) | これは1世帯に1つとか、せめて就学前の子に1冊、小学生の子に1冊とかはできないですか。 |
| (事務局) | 把握できないです。申し訳ないですが、小学校にいる子と幼稚園にいる子と保育所にいる子の親というのを把握するというと不可能ではないですが。 |
| (委員) | でもこれは保育所とか幼稚園に配るのですよね。それなら大体わかりますよね。 |
| (事務局) | 必ずしもわからない。小学校で先生に幼稚園に弟や妹がいますかと。ではその幼稚園に誰がいますか、次に保育所に誰がいますかというふうに探して |

| | |
|-------|--|
| | いく時間もないです。この設問の中に「お子様は何年生まれですか」という設問がありまして、できるだけ1人のお子さんに対してこの1冊のアンケート調査をしたいという主旨はあります。僕も子どもがおりますのでよくわかるのですが。 |
| (会長) | 幼稚園、保育所、小学校を通して配布するのですよね。未就園の場合は郵送ですよ。 |
| (事務局) | そうです。 |
| (会長) | そのときになんとか協力してくれというか。個々の依頼は難しいでしょうけど。 |
| (事務局) | 例えば、小学校1年生から3年生の間に兄妹がいる場合というのは把握できるとは思います。そこは各小学校、幼稚園、保育所でご協力いただければ、保護者1人につき可能は可能です。保護者の方が2人子どもがいてどちらでこのアンケートを答えたらいいのかとなると、やっぱり2枚書いていただかないといけないことも出てくるかなど。 |
| (会長) | 要するにこれを配るときはもちろんですけど、なんらかの形でもう1回ご協力をよろしくお願ひしますと、そういう謙虚さがあるかもしれません。 |
| (委員) | 保護者のほうで選択をするというのはどうですか。市のほうで費用がかかるかもしれないですが、把握できないということであれば渡して、未就学児童用、小学生がきた場合、提出は1部、長子について書いて提出してくださいというのはどうでしょうか。 |
| (事務局) | 配布するのは必ず全員に配布しておいて、保護者に判断いただくということですか。 |
| (委員) | 未就学用が2部来て小学生用が2部来たら、それは長子で出すか下のほうで出すかは市のほうで決めていただいて、どちらかで1部提出をするという形。 |
| (事務局) | それを説明書きに盛り込むということですね。 |
| (委員) | 対象の子を入れておいて1部で結構ですという形にしたら、アンケートに回答するほうは負担にならないと思います。あまり沢山きたら出す方もいらっしやると思いますが、面倒臭いので置いておこうという方も何人かはいらっしやるのではないかと思います。 |
| (事務局) | それは思います。重々よくわかっています。 |
| (会長) | 全員調査が必須ですか。 |
| (事務局) | そうではないです。市のほうは小学校、幼稚園、保育所にご協力をいただいて配布回収をするだけであって、他の市では抽出になっていますから、全員の回答ではないです。 |
| (委員) | 今の議論ですが、例えば小学生が3人いる家庭と1人しかいない家庭、それぞれ3人いる家庭には3つ出す。たぶん同じような答えが3つくると思います。1人のところに1つ出す。それを全部アンケートに集計して、それで |

| | |
|-------|--|
| | <p>統計的に何か意味がある資料が出るのでしょうか。要は、子どもが沢山いるところには沢山くるわけですね。1人のところには1つしかこない。結果的には全部統計データを分析するわけですから、そういうやり方でいいのかなど、不安です。</p> |
| (JMC) | <p>今回の調査は統計的には家庭単位ではなくて子ども単位です。1世帯に3通いこうが1通いこうが、子どもはトータル4人なので4通配布。統計的にはこちらのほうが正しいです。親の就労状況が同じ子どもが3人いるという考え方。1世帯に1つとなると親単位の考え方になる方が統計的には不安です。ただし、1世帯3通きたうちの1通を返してくださいということにしても抽出率という考え方になるので統計学的に問題はなくなります。</p> |
| (委員) | <p>子ども単位の調査がベストだとすれば、そういう主旨のことを書いておかないと。さっきのような議論が必ず出てくると思います。子ども単位の調査に意味があるんだと。たぶん「こんな一緒だ。1つでいい」となると思います。そこをそうさせないために、なんらかの方策といいますか、わかりやすい説明が必要だと思います。</p> |
| (会長) | <p>それは必要ですね。ご記入にあたってのところで特に強調して。</p> |
| (委員) | <p>学年を聞くところに「子どもさんが何人いますか」ということで何年生ということでも丸を付けてもらって抽出できますよね。このうちには何人いたと、小学生が3人、1年生に2人いる子もいるので、ここの書き方と、それから就学前のところも何年生まれという項目欄を増やしてもらったら2人いれば2つ書きますので。どうでしょう。</p> |
| (JMC) | <p>そうすると問題がありまして、子ども単位で病後児保育を利用した日数はおそらく違う。放課後児童クラブの利用についても、1年生の子は利用しているが、3年生になったら利用していないとか、子ども単位で違ってきます。3人いるからといってすべてを3倍に、というのは少し違うと思います。同じように病後児保育の利用日数とか、それは子ども単位でそれぞれ違うはずです。親御さんの就労状況だけが3人いたら3人揃うだけです。</p> |
| (委員) | <p>そもそも送られてきたときに答える側として、これはなんのためにこの調査をしているのかというのがわからない。国が必須だとかいうのではなくて、さぬき市としてどんな要望を拾い出そうとしているのか意図が見えない。放っておく人とか3つ届いても1つしか出さないとか。今業者が回答していると思いますが、市の事務局の方のお答えをお願いします。</p> |
| (事務局) | <p>今回の目的が計画の中身が、実際ニーズ調査でどれだけの要望があるとか、今現在何人ぐらい利用しているとか、そういうような数字を基に今後、市としてどれだけの供給をしていかなければならないかという、非常に大事なポイントになると思います。できるだけ正確な数字を見たいというので。</p> |
| (委員) | <p>前置きがあるからややこしい。本当に知りたい供給は、保育所と幼稚園さんをお願いをして集めたらいい。</p> |

| | |
|-------|--|
| (事務局) | <p>いろいろな子育て支援をしていく上で、本当に皆さんが利用するには満たされるかどうかという問題もありますので、そういう意味でお手数ですができるだけ回答して欲しいという考えではいました。</p> |
| (委員) | <p>まず2ページ目でつまづきますよね。2ページ目の段階で、1週間当たり何日何時間で何時に出社して何時に帰宅してくると、たぶん全員の手が止まりますよね。そんなに規則正しく働かれている方はいないと思うし、2ページ目で挫折すると当然ながらその後ろのほうまできちっと意識をもってアンケートに答えるということが難しくなってきますよね。必須でどうしてもいるところに絞って項目を減らしていかないと。</p> <p>せっかくアンケートを出すのだからいろいろなことを答えてほしい気持ちもわかる。しかしいっぱい盛り込んで、途中で嫌になって適当にかかれてしまったら何の役にも立たないじゃないですか。なので、もう少し絞って、うちの市で使いたいんだ、ここは知りたいんだというポイントをきちっとして、いらないところは省いていきましょうぐらいのつもりでしないと、これが2冊きたら本当にしんどい。ここにいるスタッフが「しんどい」ということを考えたら、一般の方でこういうことに興味のない方が、どのくらい前向きに取り組んでいただけるかということは、すごく不透明な部分で出てくると思うので、一旦ちょっと絞りませんか。もっと自分のところで必要なものと、国に提出しなければいけない内容というもので。</p> |
| (副会長) | <p>業者の方にお尋ねするのですが、他の市町村でもそういった形はあったと思うのです。それで減らすとかそういうことはされましたか。</p> |
| (JMC) | <p>最終的にお決めになるのは、この会議です。ちなみに私がやっているところで最小限減らしたところは国の必須項目だけ、独自質問なし。国の今回の事業計画というのは、幼児期の教育保育の事業計画という位置付けですから、それは量だけ把握する調査と割り切ってされるところもあります。次世代の計画を引き継ぐ後継計画を作成するというそっちのほうはヒアリングで対応する。それからもう1つ、国のほうの必須調査というのは就学前だけです。小学生のほうは就労状況とかいらぬ。だからそれは一切やめて共働きかどうかだけの1個の質問にしてしまうと、それから高知県は一切小学生の調査をしません。就学前だけです。それはそれぞれの市町村で違います。この会議で方向性を決めていただいたら、我々もご提案をさせていただきたいと思っています。ちなみに小学生のほうで実際に必要となる項目は学童保育だけです。これは6年生までで拡大されるので場所の確保と指導員の確保というのがどこでもかなり問題になっている。但し、今使っている量の2倍にはならないわけです。3年生までは学童に預けたいけど、6年生までに段々減っていくので、どの程度減るかというのが今までの利用量から推定ができない。だから学童のニーズだけは必要だということで小学生の調査をされないところは、今もう学童に来ておられる子どもたちに「何年生まで</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>来たいと思うか」という簡単な調査だけをして、それで推計をするという自治体もごさいます。それぞれ市町村の実態に合わせてお考えになられているようです。</p> |
| (会長) | <p>そういうことで、確かに大変だという声はかなりありますので、事務局としては大変でしょうけども削除するなり統合するなり少し工夫を加えるということではいかがでしょうか。具体的に1つ1つこの場で精査するわけにはいかないと思うので、お任せいただいて修正してということではどうでしょうか。</p> |
| (事務局) | <p>先ほど委員さんのほうからいろいろご意見を賜りましたので、できるだけ絞り込む形で、国の必須事項を中心にとということでは相当数を削る方向で検討させていただきたいと思ひます。</p> |
| (委員) | <p>今回はニーズ調査だけですか。ヒアリングはどうですか。先ほど委員さんのほうからも意見がありましたけど、どこか保護者の集団とかへ業者が直接にヒアリングとかはないですか。ニーズ調査だけですか。</p> |
| (事務局) | <p>はい、予定をしているのはニーズ調査だけです。</p> |
| (委員) | <p>そしたら、今日の流れで書きにくいという人も多くありますけれども、やっぱり逆にいろいろ意見をしっかり書いて出してもらったほうがいいと思ひます。</p> |
| (事務局) | <p>おっしゃるように設問が多ければ回収率は低い。設問が少なければたぶん回収率は高くなるというのがアンケートの常だと思ひますが、お配りしている15ページの間20までについては国の必須項目になっていますので、表現等の修正はやっていきたいと思ひますが、ここまではどうしても省けないところだと考えております。それ以降の問いにつきましては、実は一番初めに書いてありますように、次世代育成の後期計画から引き続いて子ども・子育て会議の計画を策定したいということがありまして、次世代のときにした質問をできるだけということでは市独自という形で入れているのも実はあるんです。その辺を考えると事務局としてはなかなか削れない部分もあるのですが、保護者の方に書いていただくほうが大事だと思ひますので、その辺はニーズ調査を削除してもなんらかの方法でご意見を取れば、また計画のほうには反映できると思ひますので、少し削除をしたアンケート調査のほうに変えさせていただきます。小学生のアンケートについてはそれこそ必須ではないので辞めてしまえと言われればそれまでですが、ちょっとそういうわけにもまいりませんので。放課後児童クラブについては拡充の方向で考えることもありますので、その辺はもうご協力をいただきたいということでは考えております。</p> |
| (会長) | <p>手間がかかりますがその辺りで。</p> |
| (委員) | <p>今日ご説明をいただいたこと、それから前もっていただいた資料を読みながら、何を意図されているのかというのが私自身読み取り兼ねたんです。い</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>いわゆる認定こども園ありきのところで、そこへもっていくためのアンケートという感じですが、さぬき市に認定こども園はない。そんな中で認定こども園とはなんぞやということの理解もないままにアンケートが取られて、それを集約してさぬき市は認定こども園が必要なんだとなるかどうかはわからないのですが、そうなるっていくことの不安を感じます。それから、いろいろとアンケートを取った経験のあるところで数が多いことのアンケートの不正確さは確かにわかるのですが、例えばさぬき市小学校の3年生と1年生と保育園の4歳児の子どもがいる家庭でお兄ちゃんお姉ちゃんのときにはファミリーサポートセンターは使っていない、でも下の子ども2人には使ったというのがわかってくれば、そこにファミリーサポートセンターの子育て支援に対する役割が果たしているというのがわかるのですが、しかし、そのアンケート3枚が兄妹の中で出てきているというのがわからないと思うのです。小学校3年生でファミサポを使った人もいるし、1人目、2人目は使わなかったけど3人目は使ったということで、やっぱり兄妹がいることで親が働きに出て、その上でファミサポを使ったということがわかればアンケートとして子育て支援事業の役割というのが見えてきますが、それが見えるまでのアンケートにはならないと思います。そういう意味でもう少しアンケートの内容について精査していく、それから何を意図したアンケートであるかというのを明確にしていく必要があるかなとは思いますが。言葉が正しくないかもしれませんが、いわゆる助成を得るための計画にならないように、本当にさぬき市で必要な子ども・子育て支援になっていくような内容にしてほしいと思います。それと併せて、子ども・子育て支援ですね。アンケートの多くが子育て支援にシフトしていると思います。この先にある子ども支援というところをもう少し皆さんで考えていきたい。子育て支援とあわせて子ども支援ですね。これを考えてアンケート、またそれが反映されるような内容にしていきたい。やはり子どもへの支援というのはすごく大事だと思います。以上です。</p> |
| (会長) | <p>助成を得るためのというようなニュアンスがチラッとありましたが、要するに認定こども園のニーズを無理矢理掘り起こそうということではありませんね。ニーズがあるかどうかということを探してみると。</p> |
| (事務局) | <p>市のほうでも、認定こども園のほうに無理矢理もっていくとか財政的支援があるとかないということは考えておりませんので、本当になんのために何が必要か、何が不足しているかというためにニーズ調査をおこなうと考えております。子どものためというよりは子育て支援、保護者、就労者中心でないかというご意見もございましたが、一番は子どものためにということで考えていきたいと思っておりますのでご理解ください。</p> |
| (会長) | <p>時間もかなり経ったのですが、あといろいろいただいたご意見を考慮しまして工夫をしなければいけないのですが、そういうことでお願いしたいと思</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>いますがよろしいでしょうか。</p> |
| (副会長) | <p>最後に1つだけ。就学前児童用の1ページですが、子育て環境をめぐる課題。親の働く状況の違いによる幼児期の学校教育や保育の提供体制の違いの中で、保育の後ろに「養護と教育」というものを入れてもらえればと思いますがいかがでしょうか。</p> |
| (会長) | <p>あとはいろいろ事務局のほうにお願いして、このぐらいにしたいと思います。もし何かここがということがありましたら、ご連絡いただきたいと思います。先ほど事務局のほうから修正するとおっしゃったのですが、そこら辺りを確認していただけますか。</p> |
| (事務局) | <p>先ほど委員の皆様からいろいろご意見を賜りました。そのご意見を基にできましたら会長さん、副会長さんと事務局と協議をした上でアンケートの内容を十分に精査して修正したいと思いますので、内容を修正した上で委員の皆様にも事前にお示しをした上でアンケートを実施したいと考えておりますので、それをお願いをできますでしょうか。</p> |
| (会長) | <p>よろしいでしょうか。ではそのようにお願いします。いつ頃になりますか。改めてご意見を伺うのは、お集まりしていただくか郵送で送ってご意見をいただくか。</p> |
| (事務局) | <p>まず修正をさせていただきたいと思いますので、たぶん修正をした後に会長さん、副会長さんと協議を経て考えておりましたら、たぶん今月末ぐらいになると思います。今月末ぐらいまでにはまず皆さんのほうに郵送になると思いますが一度ご提案をさせていただきたいと思います。</p> |
| (委員) | <p>私が見落としているかもしれないのですが、このアンケートはいつ頃配布して、いつ頃回収するのですか。</p> |
| (事務局) | <p>当然そのアンケートが完成してからになるのですが11月中旬に配布して10日から2週間ですぐ回収をお願いしたい。保育所、幼稚園、小学校のご協力があることでできることなので、遅くとも11月末までには回収を終わらせたいと考えております。</p> |
| (会長) | <p>そういうことでよろしくをお願いします。それでは、その他についてありますか。</p> |
| (事務局) | <p>その他につきまして、今後のスケジュールですが、ニーズ調査をさせていただいて集計結果を12月末に県のほうに報告をしなければなりません。そのタイミングをみて第2回目子ども・子育て会議を開催できたらと思っています。暮れが迫ってお忙しいと思いますが、よろしくをお願いします。年末で時間が取れない場合は1月入ってすぐ年明けになるかもしれませんが、その辺りで微調整をさせていただきたいと思います。</p> |
| (会長) | <p>そうしましたら、第2回は12月中、それがどうしても調整がつかないということであれば1月に入るということで、またご協力のほどよろしくをお願いします。</p> |

| | |
|-------|--|
| (事務局) | それではこれでよろしいでしょうか。本日はこれで終了をしたいと思いま す。どうもお疲れ様でございました。 |
| (事務局) | 最後になりましたが、閉会にあたりまして健康福祉部長の和田がごあいさ つを申し上げます。 |
| (事務局) | (部長あいさつ) |
| | 【終了】 |